

A-2 ちいちゃんのかげおくり

対象学年・教科

小学校3年国語科「ちいちゃんのかげおくり」



国民服・帽子・徴用赤たすき

(画像パネル)

[297×420]

昭和15年11月1日に国民服令によって定められた男子の標準服です。国防色で軍服の代用にもできるように考えられていました。国民服には、乙号と甲号があり、パネルの帽子は甲号、上・下衣は乙号です。

教科書には白たすきが出てきますが、亀山には赤たすきが残されており、町名と氏名が記されています。



出征兵士見送風景写真

(画像パネル)

[297×420]

本町で撮影された、出征兵士を見送っている写真です。



防空頭巾 (画像パネル)

[297×420]

戦時中、空襲時に頭を落下物などから保護するために使われた、綿の入った頭巾です。内側に、学校名・学年・組・氏名が書かれた名札がついています。



モンペ (画像パネル)

[297×420]

モンペは、作業着やふだん着としてはく袴の一種で、東北地方などで使われていましたが、第二次世界大戦中に女性の衣服として奨励されて全国に広まりました。腹部は紐でむすぶようになっていて、前の紐は長く、後ろの紐は短いです。

※ 防空頭巾とモンペは、複製品も用意しています。



鈴鹿高等女学校指定学生鞆（画像パネル）

[297×420]

ふたと肩紐がなくなっています。食糧難の頃、ジャガイモの買い出しに使って、こわれたということです。ふたを留める金具があったと思われる場所に、「四西」と書かれています。鈴鹿高等女学校は東組と西組がありました。



防空電球（画像パネル）

灯火管制電球カバー（画像パネル）

[297×420]

外に灯りが漏れないようにする道具です。電球は、側面を黒く塗り、真下に向く部分だけが明るくなるようにつくりです。どちらもスポットライトのようになったのだろうと考えられます。



兵士を見送る子どもたちの写真（画像パネル）

[297×420]

旗を振って、出征兵士を見送る子どもたちの写真です。



出征寄書の日章旗（画像パネル）

[297×420]

出征の時に、見送る方々が日章旗に寄書をしていました。



千人針（画像パネル）

[297×420]

戦時中「武運長久」の願いを込め出征兵士に贈られた御守りです。腹巻きになっています。女性が1人1針ずつ縫い、たくさんの女性から集められました。



千人力（画像パネル）

[297×420]

戦時中「武運長久」の願いを込め出征兵士に贈られた「力」の文字の御守りです。腹巻きになっています。「力」の文字は、たくさんの男性から集められました。